

世界禁煙デー

毎年5月31日は世界禁煙デーです。今回はタバコと子どもへの影響についてです。

日本人の喫煙率は、1965年頃の男性は、8割を超えていました。2008年には4割弱に減りました。女性では、1965年から約15%前後でほぼ横ばいの状態でしたが、最近では20〜30歳代の若年層では増えています。

女性の場合、自分の健康や美容に悪いだけではありません。妊娠中や出産後にもタバコがやめられないために低体重の赤ちゃんが生まれやすい、子どもがタバコの害にさらされ、喘息などの病気や事故にもつながってきます。乳幼児の誤飲事故のトップはタバコです。乳幼児がタバコを誤って飲み込むと命にかわり危険です。

今年2月に、小学校でタバコの害について話をする機会がありました。家庭でタバコを吸っている大人がいる児童に手を挙

げてもらったところ、半数以上でした。家庭での喫煙率は、まだまだ高いようです。

タバコは最初「カッコ良い」「大人になつた気持ち」から興味本位に吸い始めることが多いようです。特に家族に喫煙者がいると、未成年者の喫煙開始のきっかけとなります。さらに、タバコからアルコール、薬物乱用への興味も持ちやすくなる傾向があります。喫煙が喫煙者本人だけでなく、子どもの成長を含めて大きな影響を与えているのです。

タバコの受動喫煙などについて勉強した後の感想として、「近くでタバコは吸ってほしくないから、吸わないで」と言う「たばこを吸おうと誘われても断る」「自分の体は自分で守っていきなさい」などがあげられました。

子どものころからの禁煙教育に私たち大人が積極的に関わっていく必要があると感じています。大切な家族を守るために、禁煙をおすすめします。

(健康福祉課 保健師)

学校コーナー

5年生がぼうさい探検

五霞西小学校



避難場所の確認

今年の2月、五霞町

社会福祉協議会の協力を得て、本校の5年生が、「ぼうさい探検隊」を編成し、通学路を中心に実際に町の中を歩き、防犯、防災、交通安全等について調べました。様々な設備や施設を発見することをおして、防災、防犯、交通安全に関する意識を高めることをねらいに行われました。

当日はPTA本部、保護者の方、社会福祉協議会の方等に協力していただき、安全に探検、調査をすることができました。

探検終了後に、消防水利、防災倉庫、危険箇所、避難場所等の場所を安全マップに書き込んだり、模造紙等にまとめて、授業参観の時に発表しました。児童たちは、防災について意識が高ま

り、有意義な探検となりました。



防災倉庫を探検

本校では、日常生活における安全について必要な事柄を理解し、自他の生命を尊重し、安全な生活を営むことができる態度や能力を高めることを教育活動の重点の一つに掲げており、今後もさらに推進していきたいと思えます。ご協力よろしくお願ひします。



授業参観で発表

ご意見・ご要望をお待ちしています。

あて先
●町長(直通)
FAX (84) 1550
●企画財政課広報担当
☎ (84) 1111(内線221)



5月の納税

納期限 5月31日(月)です

軽自動車税 全 期 町民税務課 税 務 G 内線251
保 育 料 5 月 分 健康福祉課 社会福祉G 内線237
学 校 給 食 費 1・2期 教育委員会 学校教育G 84-1462
自動車税(県税) 全 期 納付に便利な口座振替をご利用ください

人口と世帯 (4月1日現在)

総人口 9,545人(-14)
男 4,789人(+ 3)
女 4,756人(-17)
世帯数 3,018世帯(± 0)
※()内は前月比